

クラウドファンディング 支援者を対象とした松竹大谷図書館見学会 報告

事務局 須貝弥生

「【第2弾】歌舞伎や映画、大切な日本の文化を次世代に残す。」プロジェクトで、5万円の支援をしてくださった方を対象として、11月28日(木)に松竹大谷図書館見学会を開催いたしました。

見学会は、午前と午後の2回で、どちらもまず須貝が御礼のご挨拶をし、当館の沿革と資料内容の説明、検索の方法について概要をお話した後、この見学会のために閲覧室に特別に展示した資料を、当館スタッフが紹介しました。

特別展示は、歴代歌舞伎座の関連資料、12代目市川團十郎丈、18代目中村勘三郎丈の襲名公演のポスター、映画『麥秋』資料、山田五十鈴様ご寄贈のアルバム、普段はお目に掛ける事ができない組上燈籠の複製も展示しました。また、今回のプロジェクトの支援金で解体・デジタル化を行う『蒲田週報』の合本も手に取ってご覧いただきました(『蒲田週報』は12月から来年の3月末まで作業のため閲覧できなくなります)。

書庫の一番奥のスペースには、普段は非公開の博物資料、松竹創立七十五周年記念顔見世大歌舞伎(昭和45年11月歌舞伎座)の出演俳優のサイン寄書屏風を展示しました。

午前の回は、3名の方が参加され、和やかに書庫を回りました。以前ご覧になった作品のプログラムなどを見つけて、とても楽しそうに感想をおっしゃっていたのが印象的でした。

また、台本カバーへのお名前の記載は、見学会参加者の分については、事前に作業を終えていて、書庫見学の折に、ご自身でその台本を所定の書架から取り出してみるという企画も盛り込みました。

午後の回の参加者は4名で、そのうち2名は、遠く関西からのご参加でした。また、お一人は昨年もお支援くださった方で、見学は今回で2度目という、当館にとって心強いサポーター様でした。

午後の回も午前と同じように閲覧室で説明の後、初参加のグループと二度目のグループに分かれて、書庫の中をご案内しました。

二度目の方は、前回一通り書庫をご覧になっているので、今回は図書館で作っている検索ツールの説明、そのツールを使っての資料の検索。図書館の資料がどのように活用されているのか具体例の紹介をし、書庫では前回ご案内しなかった商業演劇の台本や歌舞伎の書抜台本などを見ていただきました。

初参加のグループは午前の回と同様の見学内容でしたが、書庫の中にはいると、書架に並ぶ資料から目が離せなくなる、といったご様子で、スタッフも「もっとお見せしたい」と思いながら、声をかけて次の書架に進んでいただく事もしばしばありました。

あっという間の2時間でしたが、公立の図書館とはひと味もふた味も違う専門図書館を楽しんでいただけたことと思います。最後に、今後とも是非当館をご利用・ご活用いただけますよう、そして引き続き応援下さいますようお願いして、見学会を終了しました。



■ 松竹系 11月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『通し狂言 仮名手本忠臣蔵』	○		○	
	第十九回日本俳優協会賞表彰式			○	
	第 243 回子供歌舞伎教室			○	
	第十四回梅津貴昶の会			○	
新橋演舞場	『さらば八月の大地』			○	
明治座	『歌舞伎十八番の内 鳴神』	○			
	『瞼の母』	○		○	
	『大喜利 供奴』			○	○
	『歌舞伎十八番の内 毛抜』	○		○	○
	『澤瀉十種の内 連獅子』	○			
	『権三と助十』	○			
南座(京都)	桂雀松改メ三代目桂文之助襲名披露公演			○	
	水森かおりコンサートin南座				
	南座秋の特別舞台体験				○
松竹座(大阪)	『堀江川』	○			
	『六十五周年御礼口上』			○	○
	『お祭り提灯』	○			
	『裏路地』	○			
永楽館	『伽羅紗』	○			
	『お目見得口上』				
	『四変化 弥生の花浅草祭』				
金丸座	『鉤簾の戸』				
	『由縁の月』				
	『アマテラス幻想』				
地方巡業	『新版歌祭文 野崎村』	○		○	
	『江島生島』	○			

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『くじけないで』	○	○	○		○
『あさひるばん』	○	○	○		
『シネマ歌舞伎 春興鏡獅子』	○		○		

■ 映画プログラム ■

『シネマ落語 落語研究会 昭和の名人 六』

『晴れのち晴れ、ときどき晴れ』

『METライブビューイング2013-2014』

『THE ICEMAN 氷の処刑人』

『すべては君に逢えたから』

『キャプテン・フィリップス』

■ 他社演劇公演資料 ■

青山円形劇場	11月	イキウメ『片鱗』プログラム
赤坂ACTシアター	10月	赤坂ACTシアター5周年シリーズ『音楽劇ヴォイツェク』プログラム
赤坂RED/THEATER	10月	プロペラ犬『やわらかいパン』プログラム くまでん舎『サギ娘』プログラム
	11月	ワンツーワークス『息をひそめて』プログラム、台本
NHKホール	10月	『第40回NHK古典芸能鑑賞会』プログラム、台本
紀伊國屋ホール	10月	トム・プロジェクトプロデュース『裏小地』プログラム
	11月	ラッパ屋『ダチョウ課長の幸福とサバイバル』プログラム
国立劇場小劇場	10月	『浄瑠璃名曲選』プログラム 『文楽素浄瑠璃の会』プログラム
国立劇場大劇場	11月	『通し狂言 伊賀越道中双六』プログラム、台本
国立文楽劇場	10月	『東西名流舞踊鑑賞会』プログラム
座・高円寺1	10月	劇団扉座『ミュージカル バイトショウ』プログラム
ザ・スズナリ	10月	劇団ジャブジャブサーキット『月光カノン』プログラム 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業『SEX, LOVE & DEATH』プログラム、台本 劇団鳥獣戯画『カリフォルニアドリーミン』プログラム
シアターX	11月	ノルウェー国立サーミ劇場・名取事務所『白霜頭と夢見る若者』プログラム
シアタークリエ	10月	『a new musical ソング・ライターズ』プログラム
シアターコクーン	10月	『唐版滝の白糸』プログラム
Space早稲田	10月	流山児★事務所『花札伝綺』プログラム
青年座劇場	10月	劇団青年座『夜明けに消えた』プログラム、台本
	11月	劇団青年座『テロリストは山手線に乗る』プログラム、台本
セルリアンタワー能楽堂	10月	『逸青会 尾上菊之丞・茂山逸平二人会』プログラム
地方巡業	10月	劇団民藝『アンネの日記』プログラム
テアトルエコー	10月	オーディオドラマライブ二〇一三『十三なゝつ』プログラム、台本
帝国劇場	10月	『ミュージカル エニシング・ゴーズ』プログラム
	11月	『ミュージカル レ・ミゼラブル』プログラム
東京芸術劇場シアターイースト	10月	新宿梁山泊公演『月の家タルチフ』プログラム、台本
豊島公会堂	11月	豊島区テラヤマプロジェクト第2弾『テラヤマ☆歌舞伎 無頼漢ならずもの』プログラム
中野ザ・ポケット	10月	演劇集団イヌッコロ第7回公演『リバーズヒストリカ』プログラム
日生劇場	10月	ABC座2013『ジャニーズ伝説』プログラム
俳優座劇場	11月	俳優座劇場プロデュース『もし、終電に乗り遅れたら…』プログラム、台本
博多座	11月	『北島三郎特別公演』ポスター、台本
博品館劇場	11月	菅原謙次を偲ぶ錦秋公演『夕べの幽霊 今朝の女房』『雪月花』プログラム
福井県越前市武生中央公園大劇場	10月	『OSK日本歌劇団たけふ菊人形公演グランドレビュー2013』プログラム
プーク人形劇場	10月	おとなが観たい人形劇『カチカチ山』『約束』プログラム
本多劇場	10月	劇団東京ヴォードヴィルショー『その場しのぎの男たち』プログラム
三越劇場（日本橋）	10月	劇団若獅子藤原周平劇場『よろずや平四郎活人剣』プログラム、台本

■ 書籍 ■

『人形劇図書資料目録』	瀧見英明（監修）	飯田市人形劇資料調査活用実行委員会
『八代目坂東三津五郎 空前絶後の人』	田口章子（著）	ミネルヴァ書房
『花街の芸の再創造 京都上七軒における石田民三の寄与を中心に』	中原逸郎（著）	慶應義塾大学
『BROKEN（暴君）西遊記写真集 上杉祥三プロデュースチーム』		演劇ぶっく社（発行）、星雲社（発売）
『文楽 鑑賞のために』（1988年刊）	国立文楽劇場事業課（編）	国立文楽劇場事業課
『村木忍の作品』	村木忍（著）	南斗書房
『開館二十周年記念誌 美の深化』		おぶせミュージアム・中島千波館
『名取春仙展 浮世絵歌舞伎版画 最後の巨匠』		楡形町立春仙美術館
『アルプスの少女ハイジとスイス展 放映40周年特別企画』		松竹・事業部

(新規登録資料案内 続き)

■ 演劇雑誌 ■

- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| 『a a f通信』2013年11月(39号) | 『国立演芸場公演ガイド』平成25年12月号 |
| 『あぜくら』平成25年11月号 | 『メセナnote』2013年79号 |
| 『Confetti』2013年DECEMBER Vol.108 | 『ミュージカル』2013年11月-12月号 |
| 『Confettiかわら本』2013年12月号 | 『日本芸術文化振興会ニュース』平成25年12月号 |
| 『伝統文化新聞』2013年(90号) | 『日本照明家協会誌』2013年11月号 |
| 『演劇ぶっく』2013年12月号 | 『日本舞踊』65巻12月号 |
| 『悲劇喜劇』2013年12月号 | 『大向う』平成25年12月号 |
| 『邦楽の友』平成25年12月号 | 『SAKURA TIMES』Vol.17 |
| 『J A T E T』2013年No.73 | 『シアターガイド』2014年1月号 |
| 『上方芸能』2013年12月(190号) | 『ステージぴあ』2013年11+12月号 |
| 『喝采』2014年2月,3月 | 『テアトロ』2013年12月号 |

■ 映画雑誌 ■

- | | |
|--|----------------------------|
| 『ドラマ』2013年12月号 | 『黒澤明研究会誌』2013年30号 |
| 『映画テレビ技術』2013年12月号 | 『京橋映画小劇場 KYOBASHI-ZA』No.27 |
| 『映画ビジネス』平成25年10月下旬号 | 『ムービー・スター』2014年1月号 |
| 『映画撮影』2013 Nov No.199 | 『NFCカレンダー』2013年11月号,12月号 |
| 『映画時報』2013年11月号 | 『日経エンタテインメント!』2013年12月号 |
| 『映画秘宝』2014年1月号 | 『ロケーションジャパン』2013年12月号 |
| 『映画論叢』2013年(34号) | 『SCREEN』2014年1月号 |
| 『衛星劇場プログラムガイド』2013年12月号,
号外:中村福助スペシャルインタビュー | 『シナリオ』2014年1月号 |
| 『キネマ旬報』2014年12月上旬号 | 『シナリオ教室』2013年12月号 |
| | 『松竹(社報)』2013年(178号) |

≫≫ 資料提供 (2013年10月~11月)

※許可を得た方のみ掲載しております

出版

- 『森崎東党宣言!』藤井仁子(編) 2013年11月19日発売 インスクリプト
映像台本『男はつらいよ フーテンの寅(準備稿)』を提供

プログラム掲載

- 「明治座十一月花形歌舞伎」2013年11月1日より25日 明治座
雑誌『演芸画報』昭和6年4月号グラビア「臉の母」を公演プログラムの記事に提供

展示

- 神奈川近代文学館「生誕140年記念 泉鏡花展」2013年10月5日より11月24日
スチール「喜多村緑郎ポートレート」を展示に提供

DVD関連

- 「あの頃映画松竹DVDセレクション『聖女伝説』『凍河』」2013年10月30日発売 松竹株式会社
映画プレスシート『聖女伝説』『凍河』を、それぞれのDVDパッケージに提供

上映

- シネマ歌舞伎『春興鏡獅子』2013年11月30日より 東劇ほか全国で公開
歌舞伎映画『鏡獅子』を、本編の前に上映する特別映像の中で一部使用するため提供

放送

- 『ファミリーヒストリー 中村獅童』NHK総合テレビ 2013年10月18日22:00~22:49
平成3年6月歌舞伎座ポスターを提供
- 『長谷川町子物語 サザエさんが生まれた日』フジテレビ 2013年11月29日21:00~23:22
昭和28年3月歌舞伎座筋書を参考資料として提供

専門図書館協議会関東地区協議会 第19回情報サービス研究会 「経営資源としてのアーカイブズ」レポート

2013年11月25日 14:00～16:00
東京商工会議所401号室

講師：松崎裕子（実業史研究情報センター 企業資料プロジェクト担当）
出席者：飯塚美砂

企業内の過去の記録や資料をなぜ、何のために、いかに保存するのか、どのように価値を見出し活用していくのか。ともすればないがしろにされがちな、ビジネスアーカイブズについての講演があった。

まず、ビジネスアーカイブズとはなにか。契約書類、議事録、名簿、企画書、プレスリリースやウェブサイト、宣伝資料や製品パッケージ、サンプル、株主名簿…など、企業内で商品を生み出す過程で生まれるありとあらゆる資料がビジネスアーカイブとなりうる。これらのあるルールに従って、社内もしくは関係団体などで記録物として保管しておくのである。

企業にとって、資料を集めた時点では即座に利益に結び付くものではない。だが、担当部署から移管し、評価選別して整理し、目録などを作成することで、使い方を考え提案できるようになり、いずれ社内各部署で活用することができるようになる。昔の製品、宣伝物を新たな宣伝やファンなど顧客の掘り起こしにつかうといった「再利用」、写真編纂、歴史的研究の一次資料として利用、また著作権にかかわる訴訟や、企業不祥事などによる歴史的情報の開示、公開要求に対処する手段などとして必要なものと考えられる。（都合の悪い情報が「捨ててしまった」「見つからない」では、社会的責任を問われることになる。）

現在日本では公文書館においてもアーカイブを専門に扱う「アーキビスト」の存在は薄い。ましてや資料の保存意識の徹底していない企業の多い中、アーキビストの役割を担うのは資料室や総務の一部門であることが多い。永年、同じ部門に同じ職員が勤務するとも限らない。そういう状況に置いて、確実にアーカイブズを整理し保管していくためには、ルールが確立していることが必要である。

たとえば・資料の出た「出所」をあきらかにし、他の出所のものと混在させない、原型を保存する、資料の現状を変化させる処置を施す場合、その処置内容を仔細に記録に残す…などである。

企業アーキビストとして、資料の専門的扱いを知る、企業にとって価値ある記録を守り伝える、守秘義務を厳守する、企業人として社内の他部門を支援する気持ちを持つことも大事である。

企業であるだけにアーカイブズの扱いには慎重にならざるを得ない面もある。公文書ならば、ある一定の期間経過後は開示されるのが基本だが、公開するかしないか、いつするのかといった判断は株主や取引先などへの影響も大きいので、時の経過を考慮しながら経営幹部が判断することになる。企業アーキビストは歴史的情報の開示、記録公開要求などがあった場合は、利害関係者への影響も考慮して、適切に経営陣などに資料の背景や状況の説明を行えることが要求される。

また、どんな資料があるか把握し、必要と思われたときにはその資料を使った企画を提示することも期待されるだろう。

松竹大谷図書館も専門図書館という立場上、ビジネスアーカイブズに類するものに触れる機会が多い。世界の多様化が加速するに伴い、何をどこまで収集すべきなのか、どこまで閲覧に供すべきか、また開示できないものはどうしていくのか。保管の場所と費用も大きな問題となるだけに悩むことが多いので、この講演は非常に興味深いものであった。

第39回松竹大谷図書館所蔵資料展示 芝居における「忠臣蔵」展

展示期間:2013年11月29日～12月25日/於 閲覧室

12月は芝居における忠臣蔵作品の特集です。

まず、歌舞伎の「仮名手本忠臣蔵」の各場面の写真を展示しました。「仮名手本忠臣蔵」は「菅原伝授手習鑑」「義経千本桜」とともに、歌舞伎の三大名作とされています。寛延元年(1748)年に大坂竹本座で人形浄瑠璃として初演され、同年歌舞伎に移されました。11月に続いて12月現在、歌舞伎座にて「仮名手本忠臣蔵」の通しが上演中ですが、その各場面と同じ過去の上演写真を、所蔵資料から選びました。

また、歌舞伎以外の忠臣蔵作品も多く世に出ています。そのなかから選び展示した作品は以下の通りです。新国劇「赤穂浪士 中篇」は、澤田正二郎最後の舞台です。昭和4年1月に山手劇場にて「前篇」を上演、2月に「中篇」を新橋演舞場で上演しましたが、澤田正二郎は病気のため、11日を限りに休演し、入院。3月4日に逝去しました。3月は帝国劇場で「後篇」が上演されましたが、澤田正二郎の出演は叶いませんでした。「赤穂浪士」は、大石内蔵助が吉良邸討入を決行した歳と同じ45歳の時に萬屋錦之介が内蔵助を演じた作品です。同年にテレビ朝日でも錦之介主演でドラマ化されました。松竹新喜劇の「丁稚忠臣蔵」は、藤山寛美年中無休二十年達成公演で上演されました。吉良邸討入の一年後、寛美演じる丁稚の長松が赤穂浪士寺坂吉右衛門遺愛の槍を持っていたことから金儲けをたくらむ喜劇です。「大石内蔵助 忠臣蔵備忘録」「大石内蔵助」は、大石内蔵助とその妻リクの夫婦愛に焦点をあて、里見浩太郎が人間味溢れる内蔵助を演じました。「おかしな・おかしな清・富美男の大笑い!大忠臣蔵」は、梅沢武生劇団・梅沢富美男・前川清特別公演で上演されました。劇団お馴染みの楽屋ネタのアドリブで笑わせる愉快的な忠臣蔵作品です。花組芝居20周年記念公演作品として上演された「KANADEHON 忠臣蔵」は、歌舞伎や文楽でもほとんど上演されない全段通しを二時間半におさめて上演したという作品です。

日本人ならば誰もが知る「忠臣蔵」。こうして展示として並べてみますと、実に様々なジャンル、様々な手法で作品化されていることがわかります。



「赤穂浪士 中篇」新国劇澤田正二郎一座
[プログラム]

〈展示資料一覧〉

●歌舞伎「仮名手本忠臣蔵」場面写真一覧●

■口上人形

◇平成21年[2009]11月歌舞伎座上演

■大序 鶴ヶ岡社頭兎改めの場

◇平成21年[2009]11月歌舞伎座上演
塩冶判官(十八代目中村勘三郎)、高師直(五代目中村富十郎)、足利直義(二代目中村七之助)、桃井若狭之助(四代目中村梅玉)、顔世御前(二代目中村魁春)

◇平成19年[2007]2月歌舞伎座上演
高師直(五代目中村富十郎)、塩冶判官(七代目尾上菊五郎)、桃井若狭之助(二代目中村吉右衛門)

■三段目 足利館 松の間刃傷の場

◇平成10年[1998]3月歌舞伎座上演
塩冶判官(五代目中村勘九郎=十八代目中村勘三郎)

■四段目 扇ヶ谷塩冶判官切腹の場

◇昭和61年[1986]10月国立劇場大劇場上演
塩冶判官(七代目尾上梅幸)、大星由良之助(十三代目片岡仁左衛門)

■道行旅路の花智

◇昭和61年[1986]10月国立劇場大劇場上演
早野勘平(十二代目市川團十郎)、腰元おかる(五代目中村勘九郎=十八代目中村勘三郎)

■六段目 与市兵衛内勘平腹切の場

◇昭和33年[1958]3月新橋演舞場上演
早野勘平(十七代目中村勘三郎)、女房おかる(六代目中村歌右衛門)、母おかや(六代目市川團十郎)

■七段目 祇園一力茶屋の場

◇平成19年[2007]2月歌舞伎座上演
大星由良之助(二代目中村吉右衛門)、遊女おかる(五代目坂東玉三郎)、寺岡平右衛門(十五代目片岡仁左衛門)

■十一段目 両国橋引揚の場

◇平成13年[2001]3月新橋演舞場上演
大星由良之助(十二代目市川團十郎)、服部逸郎(七代目市川新之助=十一代目市川海老蔵)

●「忠臣蔵」芝居 資料一覧●

■「赤穂浪士 中篇」新国劇澤田正二郎一座 [プログラム複製]
昭和4年[1929]2月新橋演舞場上演

■「赤穂浪士」吉例第十六回萬屋錦之介特別公演 [台本、写真]
昭和54年[1979]6月歌舞伎座

■「丁稚忠臣蔵」松竹新喜劇 [プログラム]
昭和61年[1986]12月御園座上演

■「大石内蔵助 忠臣蔵備忘録」里見浩太郎特別公演 [写真]
平成9年[1997]10月新橋演舞場上演

■「大石内蔵助」里見浩太郎特別公演 [プログラム]
平成16年[2004]10月明治座上演

■「おかしな・おかしな清・富美男の大笑い!大忠臣蔵」梅沢武生劇団・梅沢富美男・前川清特別公演 [プログラム]
平成16年[2004]7月明治座上演

■「KANADEHON 忠臣蔵」花組芝居 [プログラム]
平成19年[2007]11/30～12/9 世田谷パブリックシアター上演

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2013（平成25）年11月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

松竹ブロードキャスティング株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

公益財団法人 昭和池田記念財団

どうもありがとうございます

■ 年末年始休館のお知らせ ■
平成二十五年十二月二十六日（木）より平成二十六年一月八日まで年末年始のため休館とさせていただきます。

■ 編集後記 ■

ネットで目にしたニュース。前に友人からも聞いてはいましたが、鎌倉にある神奈川県立近代美術館が閉館するかもしれません。建物が取り壊しになる可能性があるそうで、四季折々の自然のなか、池に浮かぶようにたたずむモダンな建物がなくなるのは悲しく思います。思い立ったら何とやらで先日行ってきましたが、池の周りの紅葉も色づいており、陽光がテラスの天井にゆらめくように映えるのが美しく、以前来た時と変わらず静かな空間でした。二階の喫茶室に描かれている田中岑（たかし）さんの壁画も、桃色と白の色合いがやさしく、あらためて素敵だなと思いました。あまり広くなくて観疲れせず、建物の中と外の距離が近いのも気に入っています。今まで観た展示のなかでは、中学のときに観た舟越桂展が特に印象に残っています。せめて建物だけでも何とか残して欲しいと思った秋の午後でした。（あ）



● 利用案内 ●

開館時間

平日午前10時～午後5時

休館日

土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期特別整理期間

※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します。

入館料 無料 館内閲覧のみ

● 交通案内 ●

東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

